

コマツなどに
プラチナ大賞

バイオマス利活用で

地域課題の解決につながる取り組みを対象とする「第4回プラチナ大賞」の最終審査発表会は26日、東京都内で開かれ、コマツ、石川県、県森林組合連合会の3者による「地産地消型バイオマス利活用の推進と地方創生」が大賞と経済産業大臣賞を受賞した。

コマツ栗津工場では、未利用の間伐材を燃料とするバイオマス発電に取り組み、購入電力量の削減を図っている。チップ燃料を供給する森林組合の収入や雇用が増え、地域の活性化につながっている点などが評価された。

今回は自治体や企業など54団体が応募し、10件が最終審査に進んだ。